

協働事業完了報告書

令和 4年 3月 31日

(宛先) 富士市長

所在地 [REDACTED]
提案者 団体名称 富士市国際教育ネットワーク
代表者氏名 山口和男
電話番号 [REDACTED]

次のとおり完了報告をします。

1 事業の名称	スイス・ラトビア ホストタウン市民交流推進事業
2 契約金額	98,560円
3 事業の進捗	レバンテフジ、市長戦略室ヒアリング(4月) 富士市立高校総合探究科2年生39名リモート交流(計2回、9月) スイス大使館訪問、ラトビア大使館訪問(11月) スイス大使館スイスビジネスハブ打合せ(2月) 【関連事業】 ラトビア事前合宿通訳(計6日、8月) ラジオF収録・放送(計4回、8~9月) ラトビア選手団事前合宿受入れ及び交流事業についてリモート会議(計15回)
4 提案者所見	協働事業の目的であるホストタウン市民交流の為に、スイス・ラトビア両国の東京オリパラ選手団との人的繋がり構築を確立することができ、市内外関係団体との交流の可能性調査に留まらず、既にメダリストと富士市立高等学校リモート交流を通じた情報発信を実施することができた。また、次年度における両国との産業交流を視野に入れた新しい人的繋がり構築を進めるにあたり、両国大使館訪問、およびスイス大使館スイスビジネスハブとの協議、富士市CNFプラットフォームへ加盟。
5 添付書類	収支決算書、実績報告書、写真、新聞記事

スイス・ラトビア ホストタウン市民交流推進事業

市民協働事業実績報告書

1 スイス・ラトビアとのネットワークの構築について

(1) オリパラ各競技団体

- ・ 富士市が、2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に当たり、令和 3 年 7 月にスイス連邦からオリンピック水泳代表チーム、令和 3 年 8 月にラトビア共和国からパラリンピック水泳・陸上代表チームの事前合宿を受入れた。

これに際して、本事業に関連した以下の協力も通じて、オリパラ各競技団体との意思疎通を図り、人的繋がりを構築することができた。

ラトビア事前合宿通訳(計 6 日、8 月)

ラジオ F 収録・放送 (計 4 回、8~9 月)

ラトビア選手団事前合宿受入れ及び交流事業についてリモート会議(計 15 回)

(2) スイス・ラトビア大使館

- ・ 両国大使館とは、訪問やオンライン会議を通じて、次年度につながる相互経済交流や富士市 CNF プラットフォームとの技術交流の可能性を協議することができた。

2 スイス・ラトビアとの交流の可能性(展望)について

(1) オリパラ各競技団体との交流

オリパラ関係者団体との交流の可能性調査としてきたが、富士市立高校総合探究科二年生 39 名とメダリストのリモート交流などの市民交流活動を実施することができた。

この実績を踏まえて、次の交流が期待できる。

- ・ 令和 4 年度以降、陸上・水泳の世界選手権大会に際して、富士市において事前合宿が実施された場合、オンライン交流の延長としての選手と生徒のとの対面交流
- ・ 市内の他の学校の生徒とメダリスト等とのオンライン交流

(2) 産業分野における交流

今後の経済交流を視野に入れた活動として、市内茶産業や CNF 関連企業の方々とスイス・ラトビアを拠点としたヨーロッパ企業や研究機関との交流が期待できる。

当会としては、両国と市内企業の新たな経済交流を創出すべく、大使館や関係団体とのリモート交流の継続を図っていきたいと考えている。

エコプロ 2021 (CNF 展示) 視察、ラトビア日本友好 100 周年記念事業視察
令和 3 年 12 月 10 日

富士市産業経済部産業政策課 平野貴章様

静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター 主任研究員 中島大介様

ラトビア投資開発庁 アリナ アシェチェプロワ様



CNF 展示ブース



エコプロ 2021 会場



ラトビア日本友好記念事業会場



ラトビア展示・販売ブース

【関連事業】



令和 3 年 8 月 14~19 日
ラトビア NPC 事前合宿通訳

スイス・イノベーション・パーク



令和 4 年 2 月 10 日
スイス大使館スイスビジネスハブ打合せ